

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	九州財務局長
【提出日】	2018年5月9日
【四半期会計期間】	第56期第3四半期（自 2018年1月1日 至 2018年3月31日）
【会社名】	株式会社アクシーズ
【英訳名】	XYZ Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 伊地知 高正
【本店の所在の場所】	鹿児島県鹿児島市草牟田二丁目1番8号
【電話番号】	099（223）7385（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役 榊 茂
【最寄りの連絡場所】	鹿児島県鹿児島市草牟田二丁目1番8号
【電話番号】	099（223）7385（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役 榊 茂
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第55期 第3四半期連結 累計期間	第56期 第3四半期連結 累計期間	第55期
会計期間	自2016年 7月1日 至2017年 3月31日	自2017年 7月1日 至2018年 3月31日	自2016年 7月1日 至2017年 6月30日
売上高 (百万円)	14,028	14,678	18,802
経常利益 (百万円)	2,323	2,469	3,058
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	1,505	1,709	1,960
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,538	1,698	1,996
純資産額 (百万円)	10,116	12,020	10,575
総資産額 (百万円)	12,833	14,703	13,777
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	267.99	304.33	349.02
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	78.8	81.8	76.8

回次	第55期 第3四半期連結 会計期間	第56期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自2017年 1月1日 至2017年 3月31日	自2018年 1月1日 至2018年 3月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	82.23	98.84

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更があった事項は、次のとおりです。変更箇所は下線で示しており、変更箇所の前後について記載を一部省略しております。

なお、文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

また、以下の見出しに付された項目番号は、前事業年度の有価証券報告書における「第一部 企業情報 第2 事業の状況 4 事業等のリスク」の項目番号に対応したものです。

（前略）

(5) 食品の安全性の確保および関係法令について

（中略）

さらに流通過程においても品温管理等安全管理を徹底しておりますが、万が一、鳥インフルエンザ等の疫病又は食中毒等不測の事態が生じた際には、企業の信用や業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が進み緩やかな回復が見られるものの、米国の政策運営や北朝鮮問題をはじめとする地政学的リスクと長期金利上昇への懸念によって生じる株価・為替相場の不規則な動きから、景気の下振れリスクが多数存在し、先行き不透明な状況が続いております。

鶏肉業界におきましては、他畜種の価格低迷等による需給軟調の動きから、鶏肉相場は下落しております。また、主要製造コストである飼料価格の高騰や人件費等の上昇による生産コスト増加に対応するため、鶏肉製造においては一段の効率化や省力化が求められております。

このような状況の中、当社グループの業績は、売上高146億78百万円（前年同四半期比4.6%増）となりました。利益面につきましては、営業利益23億98百万円（同6.0%増）、経常利益24億69百万円（同6.3%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億9百万円（同13.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

食品

食品事業におきましては、肥育部門で最新鋭の大型肥育施設が稼働し生産数量が増加いたしました。鶏肉加工部門においては、生産工程の歩留り向上に努めた結果、出荷数量を増加させることができました。この結果、売上高は127億11百万円（前年同四半期比6.5%増）、セグメント利益は21億88百万円（同6.2%増）となりました。

外食

外食事業におきましては、外食店舗を閉鎖しましたが、コストの減少により利益率の改善が見られました。この結果、売上高は19億66百万円（前年同四半期比6.2%減）、セグメント利益は2億7百万円（同3.7%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ9億25百万円増加し、147億3百万円となりました。これは主に、現金及び預金が4億61百万円、受取手形及び売掛金が2億22百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ5億19百万円減少し、26億82百万円となりました。これは主に、未払法人税等が4億25百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ14億45百万円増加し、120億20百万円となりました。これは主に、利益剰余金が14億56百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費の金額は、88百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	19,350,000
計	19,350,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2018年3月31日)	提出日現在発行数(株) (2018年5月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,617,500	5,617,500	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 (100株)
計	5,617,500	5,617,500	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
2018年1月1日～ 2018年3月31日	-	5,617,500	-	452	-	428

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2017年12月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2018年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,600	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,615,300	56,153	-
単元未満株式	普通株式 600	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	5,617,500	-	-
総株主の議決権	-	56,153	-

(注) 「単元未満株式」欄の株式数には、当社所有の自己株式8株が含まれております。

【自己株式等】

2018年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社アクシーズ	鹿児島市草牟田二丁目 1番8号	1,600	-	1,600	0.03
計	-	1,600	-	1,600	0.03

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2018年1月1日から2018年3月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2017年7月1日から2018年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,424	5,886
受取手形及び売掛金	1,678	1,901
製品	323	459
仕掛品	270	249
原材料及び貯蔵品	597	500
その他	372	418
貸倒引当金	0	0
流動資産合計	8,666	9,414
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	539	608
工具、器具及び備品(純額)	1,400	1,601
土地	2,353	2,353
その他(純額)	175	108
有形固定資産合計	4,470	4,672
無形固定資産		
投資その他の資産	5	33
投資その他の資産		
投資その他の資産	636	582
貸倒引当金	0	0
投資その他の資産合計	635	582
固定資産合計	5,110	5,288
資産合計	13,777	14,703
負債の部		
流動負債		
買掛金	519	331
短期借入金	-	1
未払金	1,152	1,208
未払法人税等	714	288
賞与引当金	-	78
役員賞与引当金	21	-
その他	181	233
流動負債合計	2,589	2,142
固定負債		
社債	35	35
役員退職慰労引当金	131	112
退職給付に係る負債	165	164
その他	279	227
固定負債合計	613	540
負債合計	3,202	2,682
純資産の部		
株主資本		
資本金	452	452
資本剰余金	428	428
利益剰余金	9,614	11,071
自己株式	1	1
株主資本合計	10,494	11,950
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	80	70
その他の包括利益累計額合計	80	70
純資産合計	10,575	12,020
負債純資産合計	13,777	14,703

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位 : 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年7月1日 至 2017年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)
売上高	14,028	14,678
売上原価	8,597	9,072
売上総利益	5,430	5,605
販売費及び一般管理費	3,166	3,206
営業利益	2,264	2,398
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	4	4
持分法による投資利益	-	1
受取家賃	22	23
為替差益	6	-
受取保険金	19	34
その他	12	15
営業外収益合計	67	80
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	3	-
為替差損	-	7
その他	4	1
営業外費用合計	8	9
経常利益	2,323	2,469
特別利益		
補助金収入	33	54
特別利益合計	33	54
特別損失		
固定資産除却損	-	16
固定資産圧縮損	33	54
特別損失合計	33	71
税金等調整前四半期純利益	2,323	2,453
法人税、住民税及び事業税	807	812
法人税等調整額	10	68
法人税等合計	818	743
四半期純利益	1,505	1,709
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,505	1,709

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年7月1日 至 2017年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)
四半期純利益	1,505	1,709
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	10
その他の包括利益合計	33	10
四半期包括利益	1,538	1,698
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,538	1,698
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年7月1日 至 2017年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)
減価償却費	385百万円	391百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2016年7月1日 至 2017年3月31日)

配当に関する事項

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2016年9月21日 定時株主総会	普通株式	196	35.00	2016年6月30日	2016年9月23日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)

配当に関する事項

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2017年9月12日 定時株主総会	普通株式	252	45.00	2017年6月30日	2017年9月13日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2016年7月1日至2017年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	食品	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,931	2,096	14,028	-	14,028
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	-	0	0	-
計	11,931	2,096	14,028	0	14,028
セグメント利益	2,061	200	2,261	2	2,264

(注)1. セグメント利益の調整額2百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2017年7月1日至2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	食品	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,711	1,966	14,678	-	14,678
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	-	0	0	-
計	12,711	1,966	14,678	0	14,678
セグメント利益	2,188	207	2,396	2	2,398

(注)1. セグメント利益の調整額2百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年7月1日 至 2017年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)
1株当たり四半期純利益	267円99銭	304円33銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	1,505	1,709
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	1,505	1,709
普通株式の期中平均株式数(株)	5,616,004	5,615,941

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2018年5月9日

株式会社アクシーズ

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 川畑 秀二 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 川畑 秀和 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アクシーズの2017年7月1日から2018年6月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2018年1月1日から2018年3月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2017年7月1日から2018年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アクシーズ及び連結子会社の2018年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。